口平工子的	ゥューフ宙	明学状	⊞≢左库	2010左曲 /	亚产21左车)	111 11 11	先士之羽			
	完八王子専	门字仪	開講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	施工演習			
科目基礎情	1			 	Lu =			I ::-	7/4 HB	
	土木造園科			コース名 造園			開設期	後期		
対象年次				科目区分	必修			時間数	30時間	
—.	2単位			授業形態	演習					
教科書/教材										
担当教員情	T					T		T		
3	柳川恒之、	鶴田真二				実務経験の有無・職種		有・施工管理		
学習目的		A-5 ()/ (2)			- / h A - /) /	51) - 1A.	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	>+	5学習方法、知識を身につけるこ	1 + 11
習目的とする 到達目標	Z .									
2級土木施	五二管理技術材	安定(学科) (学科)	および2級造	園施工管理技	技術検定(学	科)に合格す	ることを到達	目標とする。		
教育方法等	.									
授業概要							問題演習を選 ₹で臨むことを		苦手分野の理解と克服、テスト鵤	解答時
注意点		インの授業な 句け、最後ま							く取り組み、その克服に努めるこ	こと。
				-	7. O. J. J.	対の4分の3	3以上出席しな	い者には里	位を認めない。	
	種別	割合					3 以上出席しな 備 考	い者には里	位を認めない。	
評	試験	50%	試験合格に		重度を評価す	· 3。	備考	い者には里	位を認めない。	
評 価	試験課題	50% 20%	試験合格に 実習課題 ((過去問) ^	産度を評価す	る。を総合的に	備 考 評価する。	い者には早	位を認めない。	
評	試験	50% 20%	試験合格に 実習課題 ((過去問) ^	産度を評価す	· 3。	備 考 評価する。	い者には単	位を認めない。	
評 価 方 法	試験課題	50% 20% 30%	試験合格に 実習課題 ((過去問) ^	産度を評価す	る。を総合的に	備 考 評価する。	い者には単	位を認めない。	
評価方法	試験 課題 平常点	50% 20% 30%	試験合格に 実習課題 ((過去問) ^	産度を評価す	る。を総合的に	備 考 評価する。 する。	い者には単 関達目標	位を認めない。	
評 価 方 法	試験 課題 平常点	50% 20% 30% 回)	試験合格に 実習課題 ((過去問) ^	態度を評価す ◇の取り組み 授業態度に	る。 を総合的に よって評価	備 考 評価する。 する。	削達目標		
評価方法 授業計画(回	試験課題平常点	50% 20% 30% 回) 授業內容	試験合格に 実習課題 ((過去問) ^	態度を評価す の取り組み 授業態度に ットや重要性	る。を総合的によって評価	備 考 評価する。 する。 各回の3	到達目標 向などを理	解する。	
評価方法 授業計画 (回 1回	試験 課題 平常点 (1回~15	50% 20% 30% 回) 授業內容	試験合格に 実習課題 ((過去問) ^ 学業参加度、 試験のメリ	産度を評価す への取り組み 授業態度に ットや重要性 ットや重要性 習 確実に点	る。を総合的によって評価	備 考 評価する。 する。 各回の3 今後の業界の動	到達目標 向などを理	解する。	
評価方法 授業計画(回 1回 2回	試験 課題 平常点 1回~15 ガイダンス 過去問題に対	50% 20% 30% 30% 回) 授業內容 挑戦①	試験合格に 実習課題 ((過去問) ^ 業参加度、 試験のメリ 過去問題演	態度を評価す の取り組み 授業態度に ットや重要性 習 確実に点 習 苦手な分	る。 を総合的によって評価 こ、合格率、全	備 考 評価する。 する。 各回の3 令後の業界の動 みを把握するこ	到達目標 向などを理 とができる	解する。	
評価方法 授業計画(回 1回 2回 3回	試験 課題 平常点 (1回~15 ガイダンス 過去問題に 過去問題に	50% 20% 30% 30% 回) 授業內容 挑戦① 挑戦②	試験合格に 実習課題 (過去問) ^ 業参加度、 試験のメリ 過去問題演 過去問題演	態度を評価す の取り組み 授業態度に ットや重要性 で で で で ま の で で で の で の で の で の で り に の で り で う で う で う で う で う で う で う の う の う の う	る。を総合的によって評価 、合格率、会が取れる分野の克服方法 、験での問題へ	備 考 評価する。 する。 各回の3 今後の業界の動 みを把握するこ まを理解する。	到達目標 向などを理 とができる を理解する	解する。	
評価方法 授業計画(回 1回 2回 3回 4回	試験 課題 平常点 1回~15 ガイダンス 過去問題に封 過去問題に封	50% 20% 30% 30% 回) 授業內容 挑戦① 挑戦②	試験合格に 実習課題 (過去問) ^ 業参加度、 試験のメリ 過去問題演 過去問題演	度を評価す の取り組み 授業態度に ットや重要性 習 苦手な分 習 実際の記 習 合格基準	る。 を総合的によって評価 よって評価 、合格率、全 が取れる分野の克服方法 、験での問題へ	備 考 評価する。 する。 各回の 各回の を要解すること を理解する。 への取り組み方	到達目標 向などを理 とができる を理解する	解する。	
授業計画 (回 1 回 2 回 3 回 4 回 5 回 5 回	試験 課題 平常点 (1回~15 ガイダンス 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に	50% 20% 30% 30% 授業內容 挑戦① 挑戦② 挑戦3	試験合格に 実習課題 (過去問) へ 業参加度、 試験のメリ 過去問題演 過去問題演 過去問題演	程度を評価す の取り組み 授業態度に ットや重要性に なっ でででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	る。 を総合的に よって評価 、合格率、全 が取れる分野 野の克服方法 験での問題へ を満たす点数	備 考 評価する。 する。 各回の3 ※後の業界の動 がを把握するこ を理解する。 への取り組み方 なをとることが	到達目標 向などを理 とができる を理解する できる。	解する。	
授業計画 (回 1 回 2 回 3 回 4 回 5 回 6 回 7 回	試験 課題 平常点 (1回~15 ガイダンス 過去問題に対 過去問題に対 過去問題に対 過去問題に対	50% 20% 30% 30% 回) 授業內容 挑戦① 挑戦② 挑戦3 挑戦4	試験合格に 実習課題 (過去問) ^ 業参加度、 試験ののメリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカカリカカリカカリカ	度を評価す の取り組み 授業態度に ットや重要性 習 苦手な分 習 合格基準 習 合格基準	る。 を総合的に よって評価 に、合格率、会 が取れる分野の克服方法 験での問題へ を満たす点数 を満たす点数	備 考 評価する。 する。 各回の到 後の業界の動 みを把握するこ を理解する。 への取り組み方 なをとることが なをとることが	到達目標 向などを理 とができる を理解する できる。 できる。	解する。	
授業計画 (回 1 回 2 回 3 回 4 回 5 回 6 回 7 回	試験 課題 平常点 1回~15 ガイダンス 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に	50% 20% 30% 30% 回) 授業內容 挑戦① 挑戦② 挑戦3 挑戦4	試験合格に 実習課題 (過去問) ^ 業参加度、 試験ののメリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカカリカカリカカリカ	度を評価す の取り組み 授業態度に ットや重要性 習 苦手な分 習 合格基準 習 合格基準	る。 を総合的に よって評価 に、合格率、会 が取れる分野の克服方法 験での問題へ を満たす点数 を満たす点数	備 考 評価する。 する。 各回の3 ※後の業界の動 がを把握するこ を理解する。 への取り組み方 なをとることが なをとることが	到達目標 向などを理 とができる を理解する できる。 できる。	解する。	
評価方法 授業計画 (回 1 回 2 回 3 回 4 回 5 回 6 回 7 回 8 回	試験 課題 平常点 1回~15 ガイダンス 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に	50% 20% 30% 30% 回) 授業內容 挑戦① 挑戦② 挑戦3 挑戦4	試験合格に 実習課題 (過去問) ^ 業参加度、 試験ののメリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカカリカカリカカリカ	度を評価す の取り組み 授業態度に ットや重要性 習 苦手な分 習 合格基準 習 合格基準	る。 を総合的に よって評価 に、合格率、会 が取れる分野の克服方法 験での問題へ を満たす点数 を満たす点数	備 考 評価する。 する。 各回の3 ※後の業界の動 がを把握するこ を理解する。 への取り組み方 なをとることが なをとることが	到達目標 向などを理 とができる を理解する できる。 できる。	解する。	
評価方法 授業 10 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100	試験 課題 平常点 1回~15 ガイダンス 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に	50% 20% 30% 30% 回) 授業內容 挑戦① 挑戦② 挑戦3 挑戦4	試験合格に 実習課題 (過去問) ^ 業参加度、 試験ののメリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカカリカカリカカリカ	度を評価す の取り組み 授業態度に ットや重要性 習 苦手な分 習 合格基準 習 合格基準	る。 を総合的に よって評価 に、合格率、会 が取れる分野の克服方法 験での問題へ を満たす点数 を満たす点数	備 考 評価する。 する。 各回の3 ※後の業界の動 がを把握するこ を理解する。 への取り組み方 なをとることが なをとることが	到達目標 向などを理 とができる を理解する できる。 できる。	解する。	
授業計画 (日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	試験 課題 平常点 1回~15 ガイダンス 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に	50% 20% 30% 30% 回) 授業內容 挑戦① 挑戦② 挑戦3 挑戦4	試験合格に 実習課題 (過去問) ^ 業参加度、 試験ののメリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカカリカカリカカリカ	度を評価す の取り組み 授業態度に ットや重要性 習 苦手な分 習 合格基準 習 合格基準	る。 を総合的に よって評価 に、合格率、会 が取れる分野の克服方法 験での問題へ を満たす点数 を満たす点数	備 考 評価する。 する。 各回の3 ※後の業界の動 がを把握するこ を理解する。 への取り組み方 なをとることが なをとることが	到達目標 向などを理 とができる を理解する できる。 できる。	解する。	
授業計画 (日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	試験 課題 平常点 1回~15 ガイダンス 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に	50% 20% 30% 30% 回) 授業內容 挑戦① 挑戦② 挑戦3 挑戦4	試験合格に 実習課題 (過去問) ^ 業参加度、 試験ののメリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカカリカカリカカリカ	度を評価す の取り組み 授業態度に ットや重要性 習 苦手な分 習 合格基準 習 合格基準	る。 を総合的に よって評価 に、合格率、会 が取れる分野の克服方法 験での問題へ を満たす点数 を満たす点数	備 考 評価する。 する。 各回の3 ※後の業界の動 がを把握するこ を理解する。 への取り組み方 なをとることが なをとることが	到達目標 向などを理 とができる を理解する できる。 できる。	解する。	
授業計画 (1回 1回 2回 3回 4回 4回 5回 6回 7回 8回 9回 11回 11回 11回 11回 11回 11回 11回 11回 11回	試験 課題 平常点 1回~15 ガイダンス 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に 過去問題に	50% 20% 30% 30% 回) 授業內容 挑戦① 挑戦② 挑戦3 挑戦4	試験合格に 実習課題 (過去問) ^ 業参加度、 試験ののメリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカリカカリカカリカカリカ	度を評価す の取り組み 授業態度に ットや重要性 習 苦手な分 習 合格基準 習 合格基準	る。 を総合的に よって評価 に、合格率、会 が取れる分野の克服方法 験での問題へ を満たす点数 を満たす点数	備 考 評価する。 する。 各回の3 ※後の業界の動 がを把握するこ を理解する。 への取り組み方 なをとることが なをとることが	到達目標 向などを理 とができる を理解する できる。 できる。	解する。	